



小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

新年あけましておめでとうございます 1992年 年頭のごあいさつ



小須戸町教育長 椿 克己

明けまして

おめでとうございます。

町民の皆さまそれぞれに佳いお年をお迎えのことと存じ、謹んでお慶びを申し上げます。

今年是小須戸町元旦マラソンが第二〇回を迎え、記念すべき大会となりました。このことは最近、方々で元旦マラソンが行なわれている中で、小須戸町の元旦マラソンが、町の体育行事の中でも立派に伝統となりつつあることを物語るもので、年々参加者も増えつつあること併せ、町のスポーツの振興・町民の健康づくりの上からも誇りとするに足るものであらうと思ひます。

参加者も、親子ペアから高校生一般成人の方々まで、文字どおり雨にも負けず風にも負けず悪コンディションを物ともせず各自の目標に向かって完走された姿には頭の下がる想ひでした。

また、元日にはお屠蘇気分がゆつくりした時でもあらうかと思ひますが、当日各部の役に係わって下さった警察及び交通指導隊の方々や役員各位は勿論毎年これに携わり、ここまで育ててこられた皆さんには教育委員会より、心から敬意を表すると共に深く感謝申し上げます。

また、昨年はついに湾岸戦争が勃発、環境破壊や難民の発生等の不幸がつづき、世界各地で大きな災害も発生し、多くの人々が、いまだにその後遺症に悩んでおります。暮れには一方の超大国を自認したソ連邦が遂に消滅するなど、多大の不安定要素を内包したまま世界の新しい秩序づくりが、最大の課題として今年以降に引き継がれることになりました。それら不安定要素の中でも、ロシア・東南アジア・中近東地域など、地勢や気候風土等の違いから、政治問題・経済問題・環境問題・民族問題等が複雑に絡み合い、関係しあつて二十一世紀を生み出す胎動が続くと思われまふ。

ところで、教育問題に眼を転じてみますと、昨年夏ごろから「学校五日制」の問題が浮上してきました。これについては、子どもさんをお持ちの皆さんは勿論、すべての方が重大な関心をお持ちであらうと思ひます。県の教育委員会でも、新年度までには、実施に向けての方針を出すと言っておりますが、趣旨は九月から毎月の一回の土曜日を休みにして、子供を家庭に返すということと、子供達にゆとりを与え、子供たち自身の自主性自律性を育てて行くことというねらいを持つものであり、今まで以上に親子の触れ合いを高めて頂き、豊かな心を養つても

ちょこっと一言 (46)

旅の良さ大発見!

東京のある老夫婦に頼まれて良寛様の地を訪ねた。最後にその土地の人の紹介で、良寛様が最初に修業をされたと言ふお寺を訪ねた。(拝観料不要)生憎庫裏の普請中であつたが、中を覗いてみるとそのお寺の奥さんが出てこられた。



忙しいのにもかかわらず、どうぞと進められるままに参拝させて頂く。見ず知らずの私達に、歴史や時代背景と共に、熱心に話して下さるその姿に、損得抜きに誠実さがそこにあつた。旅の良さは、なんと云つても、その土地の人達に直接触れること。そんな事を思つたはずらしい旅でした。

らおうという試みであります。二日のニュースでは、日米の母親の子育てについての意識の比較の一部が報じられていたが、学校の成績や進学についての心配が四六%と同率であったにも関わらず、生活の規範は親が示すべきだとする考えが、日本では三六%・米国では八四%であつたということに少なからずショックを覚えました。

このような点からも、学校の五日制には大きな意味と期待がかけられているように思われまふ。昨年も申し上げましたとおり町教育委員会も皆さんと一緒に考え、心豊かな子供達を育てるために、家庭と地域の教育力を高めていく努力を続けたいと考えています。

町では、平成四年を第一年度とする第三次総合計画を鋭意策定中でありまふ。

国内外の新しい動きを見つめ

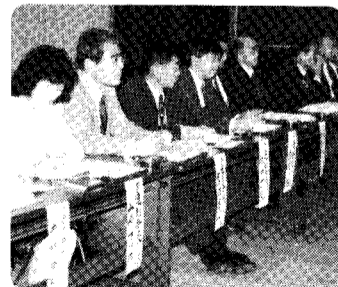
小須戸町教育懇談会

テーマは「学校五日制にむけて」

十二月九日、恒例となつた小須戸町PTA連絡協議会主催の教育懇談会が公民館三階ホールで行われ、町長、教育長、各学校長など教育関係者、団体代表など五十人が集まりました。

今年のテーマは学校の五日制についてでした。懇談会ではアンケートなどの資料に基づき意見が交わされました。

「五日制になると子供が心配」「家庭、家族を大事にできる」など賛否があり、家庭や地域の五日制に伴う課題を残しました。今後も学校、家庭、地域一体となつた話し合いを期待します。



小須戸町PTA連絡協議会主催の教育懇談会

読んでつくる豆知識

卵はとがった方を下にして保存すると長持ちする。

丸い方に卵が呼吸作用する所があり、下にすると呼吸できないため。

第二十回元日マラソン大会 小雨の中全員元気に完走

新しい年が明けた一月一日、恒例になった小須戸町元日マラソン大会が開催されました。今年も二十回目を迎え、小須戸町のお正月にすっきり定着した催しとなりました。当日はあいにくの小雨となりましたが、上は八十才以上のおじいちゃんから下は六才と幅広く、九十名の参加者がありました。三kmの部・五kmの部それぞれ事故もケガもなく、全員元気に完走しました。

ほつぺたを赤くしながら走りきったみなさんが今年も健康でありますように。



◆小学生男子の部(四年～六年) 一同席
一位 新井田孝史11分43秒(矢代田) 城丸浩志11分43秒(矢代田) 三位 石津秀樹12分12秒(松ヶ丘)

◆小学生女子の部
一位 木伏寛子13分10秒(矢代田) 二位 星田真由美14分31秒(矢代田) 三位 土田貴子14分47秒(天ヶ沢)

◆中学生女子
一位 山本早苗13分40秒(竜玄)

◆親子ペアの部(小学一年～三年) 一位 武田雅弘・敬幸組 13分06秒(横川浜) 二位 野崎健太郎・恒彦組 13分18秒(横川浜) 三位 沼田 瞬・正美組 13分42秒(新津市)



12月11日 矢代田分館婦人学級「レクダンス」それワンツワンツ



12月21日 Xmas社交ダンスパーティー。みんなて楽しく踊ったのだあー。



12月15日 手をつなぐ親の会X'mas。おいしいおもちをつくらうパッタンパッタン。



リングブル収集状況

◆一般女子の部
一位 渡辺直子15分05秒(新保) 一位 風間里美15分29秒(文京町) <五Kコース>

◆中学生男子の部
一位 渡辺賢次18分24秒(新保) 二位 北川真也18分36秒(吉田町) 三位 石井克之20分17秒(新町三)

◆一般男子の部
一位 中沢光浩17分18秒(田上町) 二位 松原俊昭18分41秒(白井) 三位 川村実19分02秒(新津警察)

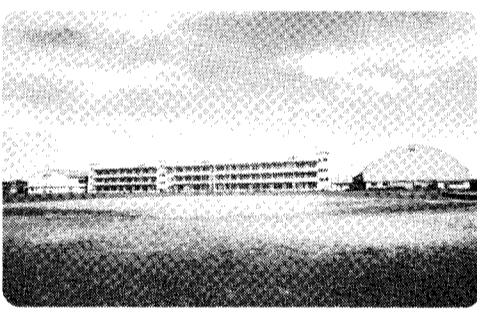
◆泊コース
期日 二月十五日(土) 十六日(日)
行先 五日町スキー場
定員 四十名
会費 大人八千五百円、子供七千五百円(宿泊費・交通費)
集合 中央公民館前 午後一時
※スキー教室注意事項
申込み 中央公民館事務局へ一月二十五日(土)までに会費を添えて申込み下さい。
指導 小須戸町体育指導委員がクラス分け指導を行います。
主催 教育委員会・中央公民館

公民館報特集号の参加者を募集!!
公民館報3月号では「小須戸のゴミの現状をどう考える(仮称)」と題し、日常何気なく出すゴミがどう処理されるのか、どんな問題を残しているのか、現状を見たりして、一人ひとり何をすればよいのかを考察し、2月中旬頃を予定しており、参加者の都合に合わせて行います。期日は2月中旬頃を予定しており、参加者の都合に合わせて行います。公民館報編集事務局(38-2234)にご連絡を。

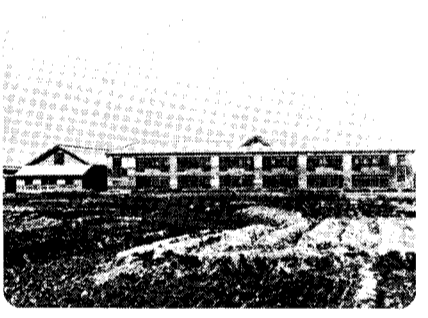
◆日帰りコース
期日 二月二日(日)
午前八時集合
集合場所 中央公民館前行先 五頭高原スキー場 定員 二十五名

◆町民スキー教室
今年はいぶりコースと一泊コースがあります。
期日 二月二日(日)
午前八時集合
集合場所 中央公民館前行先 五頭高原スキー場 定員 二十五名

◆ソフトバレーボール教室
期日 一月三十日(木) から三月十九日(日)までの毎週木曜日、午後七時三十分～九時
会場 ふれあい会館ホール
※ボールが大きくソフトなため痛くありません。



(現在)



(昭和24年)

小須戸中学校 (文京町2)

昭和22年、6・3・3・4年の教育制度、学校教育法が公布された。それを受け町でも同年5月に小須戸小学校と矢代田小学校にそれぞれ併設して小須戸中学校を開校した。翌23年当時は、セメント・釘・ガラス等の建築資材がすべて配給制という不自由な中、校舎建築に取り組み、24年1月、体育館と前棟・後棟が完成した。県下の市町村に先がけた独立校舎の建築であった。グラウンドは25年、地域住民が埋立作業等の協力のおかげで完成した。

こすどまちの今昔写真展(9)

◆新刊書案内
下天は夢か 二・三・四 津本 陽
冬の梅 芝木好子
越後風雲録 一・二 星 亮一
猛き箱舟 上・下 船戸与一
ここに地終わり海始まる 上・下 宮本 輝
大いなる夢よ光よ 津島佑子
メトレス愛人 渡辺淳一
讚美する旅人 曾野綾子
奇り添って老後 沢村貞子
日本とは何か 堺屋太一
女の生き方 上・下 山崎朋子
愛ゆらり 時実新子
帰れざる川 一柳淳子
嫁と姑は名優たれ 斎藤茂太

◆子供文庫
証言、真珠湾攻撃 光人社
いま脳死をどう考えるか 渡辺淳一

◆子供文庫
竹取物語・伊勢物語 北杜夫・依万智
21世紀子ども百科 小学館
枕草子 大庭みな子
図書室夜間開放行っています。中央公民館図書室では夜間開放を毎週水曜日の午後七時から九時まで行っています。どうぞご利用下さい。

◆ふれあい会館図書増冊しました。毎週金曜日の午後一時三十分から貸出しを行っています。今月から七百冊に増やしました。どうぞご利用下さい。(幼児向けのの本もあてあります)

俳句
ぼつぼつと零落すや懸大根 五十嵐香月
球場に風の喚声草枯る 丸山虚秋
祠出て杉山の奥照もみぢ 内山越楼
鐘楼に月寒さむと昇りけり 間野良遊
たまさかの帰郷にきのこ汁二杯 間野えり
村社翁一人が落葉焚き 中野敏子
駆け込めば仁王一喝初しぐれ 藤井 春
沢庵を漬け終へ妻の早寝かな 牧野信雄

短歌
啄みて木の枝ゆれる柿の実に首をかしげる日 佐藤新治郎
和の雀
凛冽の寒気総身に染み透り日輪白く雪山にあ 我妻清作
寒むしぐれ季添みること降りそそぐ朴の広葉 村山 睦
も色くすみたり
シルフィード号の薄日に映る日本海能登路ゆ 長井武雄
く旅まづ思まれて
わが列りし草に來りてちちつと銜えて飛び 河内ヒロ
ゆく雀のいとし

川柳
敏感な子は察してゐる夫婦仲 高橋ただし
トビの輪にからす割り込み仲を裂き 栗原ひさし
よくもまあ続いた仲の喜寿二人 阿達キヨノ
成るようになるさ仲間の内輪もめ 小見キン

◆これは言いたい!
住みよい町へ
昨年、小須戸町は交通安全宣言をしました。しかし、あい変わらず事故が多発しています。特に新保の広域農道ではいたましい死亡事故が起きました。広域農道では他市町村から来た車が再三事故を起こしています。事故防止のためにも、もっと分かりやすい方法で事故防止ができないうまい方法で事故防止ができません。看板

◆役場交通安全担当
広域農道の事故現場付近にカーブミラー、看板を設置し交通安全を呼びかけています。うでこき竜玄線と交差する農道は、信号機がつくよう警察当局で努力しています。

◆みなさんにお知らせ
今月号より新しい企画として「これは言いたい」を連載します。
この欄は町民のみなさんが小須戸町に住んで感じている事や要望などを言える自由な欄とします。次の要領でお寄せ下さい。
●内容は自由ですが、住みよ
●毎月月末を〆切とします。

◆原稿は五百字程度とする。
●住所・氏名・TELを記入すること。誌面に載せる際、匿名希望の場合「誌上匿名」と記する。
●ハガキか手紙で若葉町二中央公民館編集事務局宛てて郵送、もしくは直接持参すること。

川柳・短歌・俳句を募集しています。応募方法 住所・氏名・TEL・部門・作品を記入の上、若葉町2、中央公民館編集事務局宛 郵送又は、直接持参下さい。〆切は毎月末です。